

【星空観察】「自主活動」または「有料講師」

活動に必要なもの

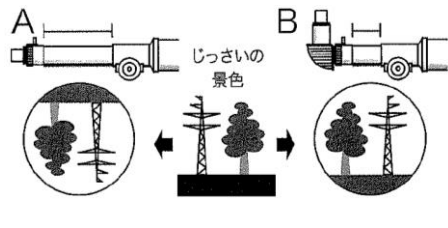
- ・団体（個人）で用意するもの
 - ①肌が露出しない服装 ②懐中電灯
 - ・交流の家貸し出し可能なもの
 - ①星座早見盤
 - ②天体望遠鏡
 - ・接眼レンズ（2個：30倍・75倍）
 - ・天頂ミラー（1個）
 - ・マニュアル（望遠鏡の使い方）
- ※ 望遠鏡・レンズ・天頂ミラーは同じ番号（1～5）のものを使う。

活動前の準備

- ・入所の受付時に、実施場所や活動時間等の確認を行う。
- ・講師を依頼した団体は、活動開始前に講師と打ち合わせを行う。
 （※講師との打ち合わせ場所と時間は、事前に団体が講師と決定しておく。）
- ・貸出希望物品を事務室へ取りに行く。
- ・活動場所で、用具の準備を行う。

屈折式天体望遠鏡の特徴

- ・A では逆さまに見える。
- ・B では左右逆に見える。
- ・B では天頂ミラーの分だけ、チューブを短くすればピントが合う。



留意点

- ・R7年度まで、活動前に職員との打ち合わせを行っていましたが、R8年度より、打ち合わせは行いません。利用日当日までにHP掲載の活動マニュアルを必ずご確認いただき、不明点等ございましたら、交流の家までお問い合わせください。
- ・活動前に引率者から安全指導をしてください。騒がない（大声を出さない）→他団体への配慮 ぶざけない（走らない、懐中電灯で遊ばない等）
- ・レンズに指紋をつけないようにしてください。指紋がついてしまったら事務室へ報告をしてください。
- ・観察するときは低倍率（30倍）→ 高倍率（75倍）に変えてください。（※30倍→月・星雲・星団 75倍→月のクレーター・土星・木星・金星・火星が見える。）
- ・太陽は絶対に見ないようにしてください。（昼間実施の場合。）
- ・片付けをする際は、必ず元の状態に戻してください。→ 望遠鏡・接眼レンズ・天頂ミラーのシールの確認（剥がれていたら事務室へ報告してください。）
接眼レンズ・天頂ミラーは元の袋に入れる
- ・フードに黒色のカバーを取りつけてください。（カバー内側に「赤城」のシールが貼ってある）
- ・雷、強風、大雨など天候の変化がありましたら、途中でも切り上げてください。
- ・安全上職員が中止の判断をすることがあります。